

# 鶴岡市生活支援体制整備事業報告

## 生活支援体制整備事業の目的

単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加するなか、医療、介護のサービス提供のみならず、生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的とする。

### <第1層、第2層生活支援コーディネーターの役割>

**第1層：** 鶴岡市地域包括ケア推進室に1名配置し、第1層協議体と連携した新たな生活支援サービスの創出、地域資源の開発やネットワークの構築、ニーズと取組のマッチング、第2層生活支援コーディネーターの支援などを行っている。

**第2層：** 各地域包括支援センターに1名配置し、担当地域における資源開発やネットワークの構築を行い、地域の関係者による多様な主体間の定期的な情報共有や、連携及び協働による取組みなどを進めるとともに、高齢者等の生活支援の取組みを行っている。また、第1層生活支援コーディネーターとともに住民主体による介護予防や生活支援の多様な担い手を養成し、住民同士の支え合いによる地域づくりを進めている。

### <主な活動内容>

- ①地域にある支え合い活動の把握、新たな支援の取組み創出
- ②鶴岡市地域支え合い情報誌「和と輪つるおか」作成（見える化の取組）
- ③鶴岡市地域支え合い活動研修会  
～住み続けたい そんな想いをかたちに～ 開催（見せる化の取組）
- ④鶴岡市担い手養成研修会 開催（年2回）
- ⑤鶴岡市地域ケア推進会議開催（第1層協議体 年3回）

## ①地域にある支え合い活動の把握、新たな支援の取組み創出

<令和5年度実績>

- ◆地域の支え合い活動の把握件数： 741件
- ◆新たな地域の支え合い活動の創出件数： 75件

<生活支援コーディネーターが関わり、新たに立ち上がった地域支え合い活動の一例>

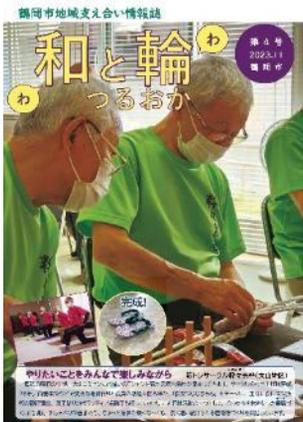


～藤島地域～  
下町いきいき百歳体操（通いの場）



～温海地域山戸地区～  
支え合い「結の会」（有償ボランティア）

## ②鶴岡市地域支え合い情報誌「和と輪つるおか」作成（見える化の取組）



【「和と輪つるおか」表紙】

地域の支え合い活動の可視化（見える化）を行い、地域の支え合い活動の推進を図ることを目的に、地域支え合い情報誌を発行し、地域住民組織・関係機関に広く配布し、支え合いの地域づくりについて周知した。

### 【掲載内容】

- ・11地域毎の通いの場や買い物支援の取組みの紹介
- ・鶴岡市生活支援コーディネーターの紹介

### 【発行部数】

5,000部

### 【配布先】

町内会、自治会、民生児童委員、コミセン 等

## ③鶴岡市地域支え合い活動研修会

～住み続けたい そんな想いをかたちに～ 開催（見せる化の取組）

目的：「通いの場」や「地域の支え合い活動」などを展開している団体の取り組み内容を紹介することにより、活動の継続意欲の向上や、新規の立ち上げへの機運を高めることを目的に開催。

実施日：令和5年11月18日（土）13：30～16：00

会場：鶴岡市先端研究産業支援センター レクチャーホール  
Zoomウェビナーによるオンライン配信併用

内容：第1部：基調講演

「社会参加のすすめ」

講師 一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構  
服部 真治 氏

第2部 活動発表、ディスカッション

・ファシリテーター 服部 真治 氏

・活動発表団体 はっぴいサポート（庄内町） 梅木 強 氏  
横山 祐子 氏

参加者数：100人

## ④担い手養成研修の開催

対象者：地域で自分の力を活かしたい、地域貢献したい方

内容：通いの場の運営や日常生活支援の担い手となるために必要な基礎的な知識や技術の講習、通いの場の見学

	実施状況	修了者数
第1回	実施期間：令和5年6月16日(木)、6月17日(金)、7月29日(金) 通いの場見学：令和5年6月21日、30日、7月5日、11日、12日、27日 会場：鶴岡市総合保健福祉センター にこ♥ふる他	10人
第2回	座学・実技：令和5年10月30日(月)、10月31日(火)、11月28日(火) 通いの場見学：令和5年11月10日、24日、27日 会場：鶴岡市総合保健福祉センター にこ♥ふる他	8人

<担い手養成研修修了者数>

H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	計
44	40	49	30	18	30	19	18	248

## ⑤鶴岡市地域ケア推進会議開催

日常生活圏域レベルの地域ケア会議で明らかになった課題を整理し、解決していくために、保健・医療・福祉等の関係機関の代表者で構成する会議で、ニーズに対応したサービス資源の開発や、保健・医療・福祉等の専門機関や住民組織・民間企業等によるネットワークを強化し地域包括ケアの社会基盤整備につなげます。

### 令和5年度 実施状況

第1回	日 時：令和5年7月19日（水）（出席委員 12名）
	内 容：①今年度のテーマ決定の経過について説明 ②鶴岡市の高齢者を取り巻く現状について説明 ③「いつまでも 住み慣れた鶴岡で 暮らし続けるために」について協議
	第2回
日 時：令和5年9月22日（金）（出席委員 11名）	
内 容：①前回の振り返り ②「いつまでも 住み慣れた鶴岡で 暮らし続けるために」について協議	
第3回	日 時：令和6年3月4日（月）（出席委員 13名）
内 容：①鶴岡市高齢者福祉計画 第9期介護保険事業計画について説明 ②令和6年度以降の総合事業の見直しについて	

## 第2層生活支援コーディネーター 月次活動記録集計 (延べ件数)

	個別支援		地域支援										地域ケア会議			包括・法人内部会議	S C定例会	その他会議	研修参加	資料作成等事務					
	関係形成	直接支援	連絡調整	関係形成	協議	調査・情報収集	立ち上げ支援	運営支援	地域への働きかけ	サービス創出	担い手養成	マッチング	ネットワーク化	情報発信	連絡調整						事業実施	個別ケア	自立支援型	ネットワーク	推進会議
R 1	58	69	52	536	190	582	456	477	535	67	289	109	3	338	310	132	137	88	125	56	144	119	326	269	659
R 2	45	50	17	608	213	685	104	599	244	8	22	47	7	389	466	176	28	11	105	70	225	154	357	166	1528

	R3年度	R4年度	R5年度
新たな地域資源の発見件数	50	33	35
新たな地域の支え合い活動の創出件数	29	21	75
広報物の作成件数	116	89	121
情報発信の取り組み件数	451	436	1027

令和3年度より、月次活動記録の様式を変更

## 令和5年度のまとめ

- ◆ 生活支援コーディネーターが関わって新たに立ち上がるなど、新たに把握した「通いの場」や「買い物支援」といった地域支え合い活動は、令和5年度75件となっており、生活支援コーディネーターの役割の重要性や認知度が高まりつつある。
- ◆ R5年度担い手養成研修会修了者数は減少したが、修了者の中には、第2層生活支援コーディネーターの支援を受け、通いの場を立ち上げた方など、活躍の場へ繋がり、担い手として活躍されている。